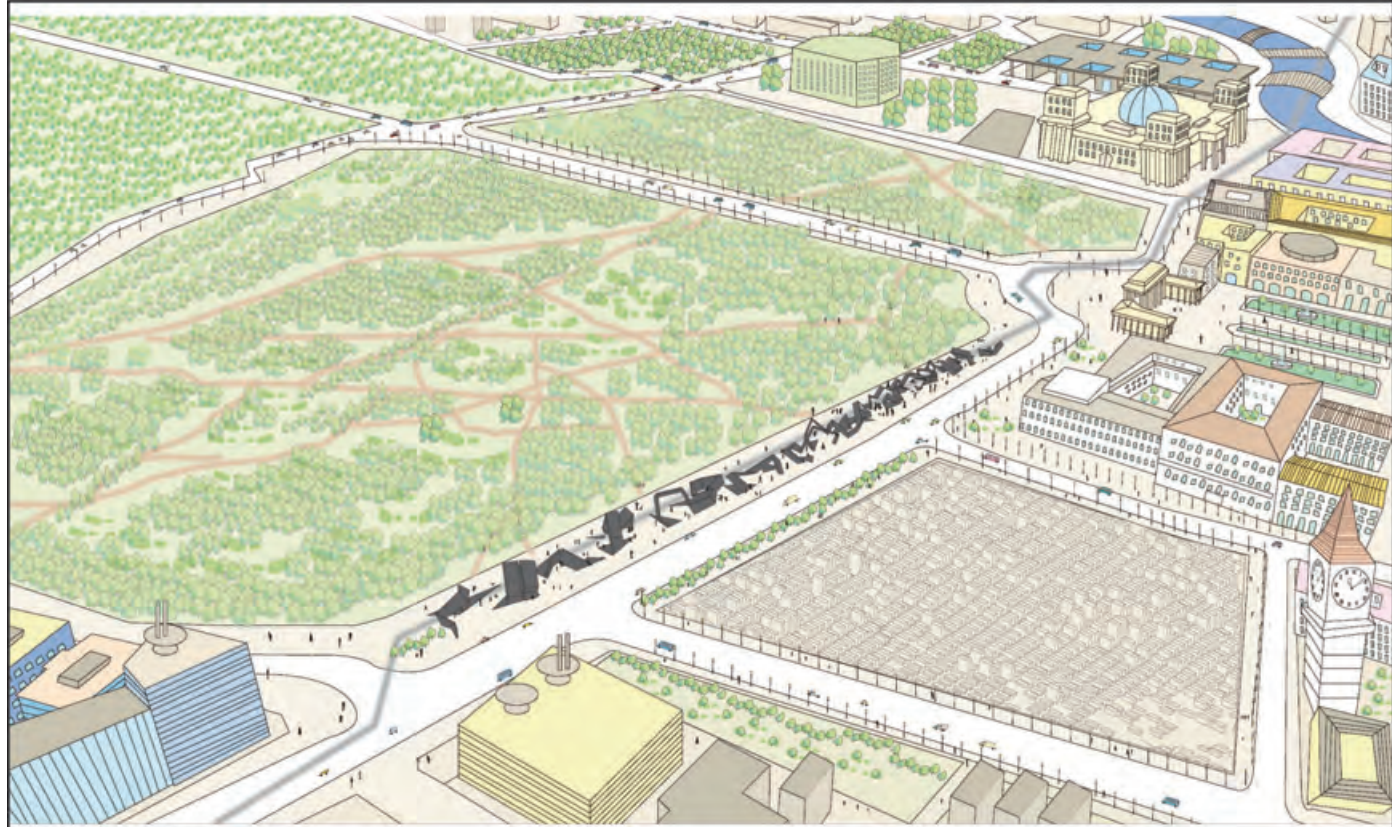


国境博物館



遠藤 孝弘
Endo Takahiro

指導教員：岩田 伸一郎 専任講師



Concept diagram = 折る

Subject = 世界中の国境問題を訴える。



Back ground = 壁の形成、壁の崩壊



世界には203の国があり、国を分けるために国境は数多く存在している。国境では、異なる文化同士が交流できる場であると同時に、争いも起こる。異文化同士の紛争、領域問題、密輸や密国などの問題が起きている。しかしそれらの国境での事件は社会にごくわずしか知られていない。国家間の争いのほとんどは国境上が舞台になっている。



作品概要

世界を平和にする建築。境界線では別々の価値観を持つ者達の争いの場。世界中の国境で起きている様々なことを知らせる博物館を提案。世界でいちばん有名だった境界線、ベルリンの壁は大地を貫き世界の数203回に折られて蛇のように巻きついた。かつて負の象徴だったものが、世界平和の象徴になる。

卒業設計を振り返って

自分のことを信じる事。やりたい事をやればいい。それがどんなに馬鹿げても。ただし死ぬ気でやる事。でもどんなに頑張っても後悔は残るという事。その後悔はいつしか自分を成長させるはずだという事。その時支えてくれた一緒に闘ってきた周りの人間たちに感謝する事。でも結局1つというならば、すごく楽しかった。

